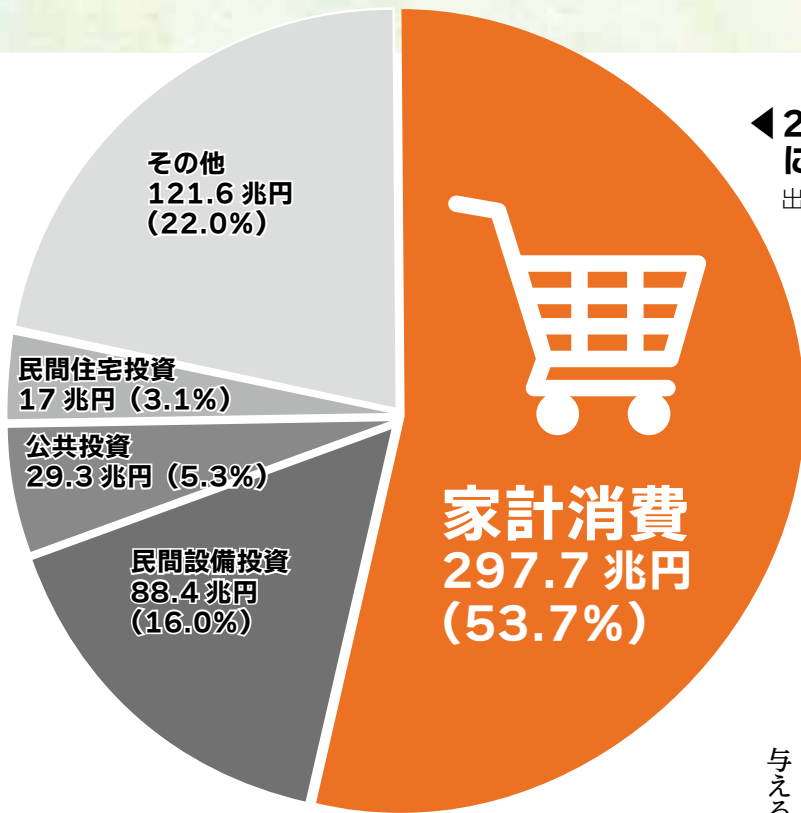


## ◀ 2019年名目国内総生産（554兆円） における家計消費の割合

出典：“令和2年版 消費者白書” 消費者庁



ではないでしょうか。  
しかし、普段私たちが何気なく購入している商品の生産の過程では、地球の温暖化や森林減少などの環境問題、発展途上国の貧困や飢餓、児童労働といった深刻な社会問題が起きているのが現状です。  
モノやサービスを買うという行動で、世界のさまざまな課題を解決し、みんなの笑顔につなげたい。そんな想いから生まれたのが「エシカル消費」です。

また、世界が丸となって取り組むため定められた、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール達成にも貢献する取り組みとしても注目されています。  
**一人ひとりの力は小さくても…**  
では、私たち一人ひとりにどんなことができるのでしょうか。「私一人が頑張ったって…」と思われるかもしれません。私たちは一人ひとりの消費行動は、実は社会に多くの影響を与えるのです。

左上の円グラフは、日本の名目国内総生産における家計消費の割合を示したものです。なんと日本の経済全体の約5割が家計消費によるのです。  
つまり、一人ひとりの頑張りが積み重なれば、エシカル消費に配慮された商品を生み出した人や企業の継続、発展へとつながります。逆にそうでない商品や企業は無くなってしまうかもしれません。私たちの消費における選択は、社会を変える力を持っているのです。

## 毎年5月は 消費者月間です

消費者、事業者、行政が一体となって消費者問題に関する啓発・教育等の各種事業を集中的に行っています。



## POINT 02

## 動画で知る、エシカル消費

### 「エシカル消費を实践しよう」

エシカル消費の考え方や行動例を分かりやすく紹介した政府広報動画（アニメーション動画）です。消費者庁エシカル消費特設サイト内で公開されています。



作成：内閣府政府広報室、消費者庁



消費者庁エシカル消費特設サイト